

# 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

|               |   |
|---------------|---|
| (1) 公の施設の名称   | 倉敷市立磯崎眠亀記念館                                   |
| (2) 指定管理者     | 所在地 倉敷市茶屋町195番地<br>名称 磯崎眠亀顕彰会<br>代表者 会長 佐川 慶三 |
| (3) 公の施設の所管部署 | 倉敷市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課                         |
| (4) 評価対象期間    | 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで                         |

## 2 総合評価結果

|                |   |      |
|----------------|---|------|
| (1) 市の評価       | 館内外の美化や維持管理に努めており、学校からの講演や見学依頼の受け入れ、自主事業でのイベントなどを行い、磯崎眠亀の功績や花筵の技術に関する知識の普及に貢献している。<br>また、外国の方向けに英語表記のパンフレットを作成するなど来館者に合わせた工夫もみられる。  | 総合評価 |
|                |   | S    |
| (2) 指定管理者の自己評価 | 来館者に「来てよかった」と思われるように、日頃から誠意をもって丁寧な案内を心掛けている。<br>新型コロナウイルス感染症が収束し、4年ぶりに眠亀まつりを盛大に開催することができた。磯崎眠亀の偉業を称えるとともに、錦菟薙及び磯崎眠亀記念館の文化財としての広報を行い、住民同士の親睦や異なる年代間のコミュニケーションを図ることができた。<br>自主事業としておこなった児童書画作品展覧会は、倉敷市の後援を受けて磯崎眠亀に関連した課題を設けて実施した。書道の部は158名、図画の部は11名、デザインの部は23名が出品された。一般の部の総合作品展覧会は、35名が出品された。<br>茶屋町小学校3年生の182名が12月に社会見学で訪れ、スライドでの説明と展示品の案内を行い、郷土の偉人である磯崎眠亀の努力と創意工夫について伝承した。また、帯江小学校から依頼があり、3年生に磯崎眠亀と錦菟薙について館長が講演を行った。後日、帯江小学校の児童と保護者が当館へ訪れた。 |      |
| (3) アンケート結果の概要 | 初めての来館が95%を占めており、70%の方が市外在住との回答であった。<br>管理運営面については全員が満足、または、ほぼ満足と回答しており、感想や意見も、磯崎眠亀の努力や錦菟薙の素晴らしさ、説明に対してのお礼が大半で、苦情等は皆無であった。  |      |

## 3 施設の利用状況

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| (1) 利用者数  | 前年度入館者数 1,120人<br>今年度入館者数 1,258人 |
| (2) 事業の内容 | 倉敷市立磯崎眠亀記念館の管理運営に関すること           |

## 4 収支

|                      |   |
|----------------------|---|
| (1) 収入<br>(指定管理者の収入) | 総額 1,583,049円<br>市からの指定管理料(委託料) 1,484,000円<br><br>自主事業 99,049円      |
| (2) 支出<br>(指定管理者の支出) | 総額 1,583,049円<br>主な支出 人件費 1,484,000円<br>消費品費 86,499円<br>保険料 12,550円 |